

日芸協中部ニュース

No.50 2026 年 8 月 1 日発行

編集・発行: 日芸協中部 広報委員会

☆日芸協中部（本部） 総会

5 月 10 日（日）名古屋市民会館にて 10 時より開催されました。戸田理事長の開会宣言で、総会員数 500 人のうち出席者 447 人（委任状を含む）でもって総会成立が報告されました。大澤会長の挨拶の後、議長に戸田理事長が選出されました。

第 1 号議案 2025 年度事業・決算報告について伊藤事務局長から説明の後、小林監査役から適正であるとの報告があり、賛成多数で承認されました。

第 2 号議案 2026 年度事業計画・予算案についても賛成多数で承認されました。

議事終了後、大澤会長より中部地区の師範合格者 4 人、準師範合格者 4 人の紹介がありました。

また、長老荣誉賞受賞者の 4 人（当日欠席者 1 人）の紹介と加藤名誉会長（本部理事長）による表彰式が行われました。



☆独奏曲演奏法研修会

今年度も加藤精吾さん（大師範）を講師にお迎えし、名古屋市民会館で 6 月 28 日（日）に開催され、54 人が受講しました。

講義では、何よりもまず、ハーモニカをきちんと調律することの大切さと、演奏するにあたって「表現」「リズム」「技巧」「音色」「曲の解釈」の 5 点に気を付けることの重要性を話されました。その後、今年度の準師範と師範試験課題曲について、楽曲の背景・構造、及び演奏上の留意点について、詳しい解説と公開レッスンが行われました。

「トロイカ」では、大小ベースを正確に奏することや、曲を盛り上げるように演奏するところなどの説明がありました。「故郷を離れる歌」では、弱起の曲の演奏の仕方や同じ音階が続く際の演奏での注意点などを教えていただきました。また、フェルマータ記号の前部分の演奏方法や、ベース奏法で気を付けることなど、日々の練習で意識すべきことを色々学ぶことができました。



☆第 5 回全日本ハーモニカ演懐コンクール

3 月 24 日（火）仙台市民会館にて本選ライブが開催されました。当会では複音ハーモニカ小アンサンブル部門でルビアスマイル（リーダー：公下明音さん。石川県）が第 3 位を受賞されました。

☆日本ハーモニカ芸術協会（本部） 総会

4 月 20 日（月）東京・日暮里サニーホールで開催されました。田邊会長・上相談役の挨拶に続き、加藤精吾理事長（本会名誉会長）が議長に選出され、議事が進められました。

第 1 号議案 2025 年度事業及び決算報告の認定、及び第 2 号議案 2026 年度事業計画及び予算（案）の承認、並びに第 3 号議案 2026 年度「日本ハーモニカまつり 2027」事業計画及び特別会計予算について承認されました。

第 4 号議案 日本ハーモニカ芸術協会会則の一部改正について、下記の 2 項目は賛成多数により原案通り承認されました。

1. 「本会に提言、助言等を行う者」として新たに「参与」を新設（2026 年 4 月 20 日施行）
2. 「準師範」の年会費を 9,000 円とする。（2027 年 4 月 1 日施行）

また、大澤組織局長（本会会長）から昨年度に引き続き会員増強策の一環として、新規入会者に対して入会金 2,000 円免除・田邊会長から寄贈された「旋律を極めるテクニックがわかる本」（田邊峯光監修）を進呈するキャンペーンを実施する旨の報告がありました。

2026 年 春のハーモニカ祭り

総会終了後、第 77 回日本ハーモニカ芸術協会定期演奏会が同会場において開催されました。

本会からは、昨年度編曲コンクールで優勝された寒竹由佳さん、並びに複音ハーモニカコンクール「ミドルの部」で第 1 位の柴山真由美さん、「複音アンサンブルの部」で第 1 位の「旋律日和」（柴山真由美さん・樋口千尋さんのデュオ）が素晴らしい演奏を披露されました。

☆日芸協中部コンサートの開催 迫る !!

8 月 9 日（日）13 時より江南市民文化会館で開催されます。チケットは前売り 2,000 円 当日 2,500 円（全席自由）

お問合せ、申込みは Tel. Fax 059-388-4949 樋口 までお願いします。

出演は独奏 9 人、アンサンブル 6 組です。その中で今年の準師範、師範合格者が 3 人、著名コンクールで入賞したグループが 2 組です。

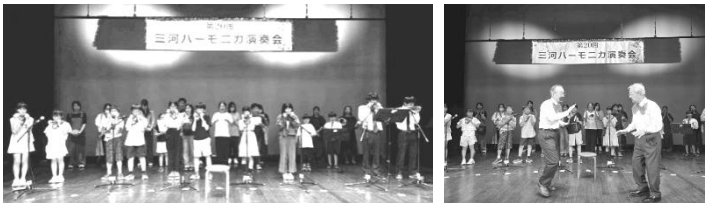
ゲストは卓越した演奏技術に定評があるハーモニカ・デュオ Bom×Boa（ボン・ボア）です。

会場へは名古屋駅から名鉄犬山線（準急以上）で、江南駅まで約 20 分、同駅東口より徒歩 6 分です。皆様のご来場をお待ちしております。

☆第20回 三河ハーモニカ演奏会

5月24日(日)岡崎市図書館交流プラザ「Libraホール」で開催されました。今回は115人が出演し、独奏13人、二重奏3組、合奏12組で48曲の演奏でした。220人を超える来場者がありました。第20回を記念して趣向を凝らしたプログラムで、子供たち18人とその保護者が出演した歌と演奏が入った昔ばなし「浦島太郎」や、番外で「ヒゲダンス」が熱演され、会場が盛り上がりました。演者はなんと当会会長の大澤龍己さんと、三河支部長の小林義行さんでした(翌日、筋肉痛になったとか・・・??)。また、「たんぽぽ鳴海」の二部合奏「おおブレネリ」の演奏では指揮者の松山俊江さんが手話とダンスを披露して会場が和みました。演奏会のトリはFIHコンクール第3位と特別賞をダブル受賞された辻豊志さんによる「城ヶ島の雨による幻想曲」の独奏で、4時間に及ぶ演奏会が終演しました。

(寄稿:野々目邦夫さん)



☆第20回 全知多ハーモニカ演奏会

6月14日(日)半田市のアイプラザ半田で273人の来場者を迎えて開催。合奏6組、四重奏3組、三重奏1組、二重奏2組、独奏14人、全員合奏1曲を含み、延べ80人が全37曲を熱演しました。

今回の目玉は、「歌えるハーモニカ演奏会」と称し、親しみやすい7曲を選んで来場者にも歌で参加して頂いたことで、会場は従来にない盛り上がりを見せました。寄せられたアンケートでも、大半の人が大変良かったと評価し、「楽しかった」「演奏者との一体感を感じた」など嬉しいコメントも頂きました。また、プログラムの中でも人気を集めたのがウクレレを混ぜての三重奏。奇抜な演出とコミカルな振付などの動きもあり、観客の喝さいを浴びていました。このように「歌える演奏会」や「他楽器との共演」など、今後も工夫を凝らして演奏会を盛り上げ、知多支部の一層の活性化に繋げていきます。(寄稿:八木明義さん)



☆第2回 ハレの日コンサート(岐阜支部)

3月29日(日)岐阜市生涯学習施設にて開催しました。オープニングで「愛のオルゴール」は軽やかに、「マイウェイ」は朗々と合奏のハーモニーを響かせました。独奏、二重奏、三重奏など多彩な形態の演奏で温かい拍手をいただきました。

「浜辺の歌」「365日の紙飛行機」では、演奏者全員による大合奏と観客の歌声がひとつになり、会場はさらに盛り上がりました。

昨年同様、小野俊子さんをゲストに迎え、しっとりとした感動的な演奏で会場を魅了しました。

演奏者はこの日のために一生懸命練習を重ね、その成果を披露しました。みんなで作上げたコンサートを終え、充実感に包まれた参加者は、ますますハーモニカの魅力に引き込まれたようです!

(寄稿:岩田雅子さん)



◇ グレード認定等のお知らせ ◇

2026年4月 中部支部関係分

【初級】★愛西ハモクラブ=河合三枝子

【中級】★愛西ハモクラブ=笠井和子 ★西尾ハモサークル=古居雅子

【上級】★さくらハーモニ=浅野喜美

【研究科】★木曽川ハーモニ=白崎静枝 ★さくらハーモニ=上地はるみ

【準師範】上野紀美子(名古屋市)、奥野民憲(名古屋市)、公下明音(小松市)、長門久明(春日井市)

【師範】岩田雅子(岐阜市)、柴山真由美(名古屋市)、森 彩花(浜松市)、横井磨由(尾張旭市)

<長老栄誉賞>

長田弘(大府市)、西口正明(豊田市)、黒田賢治(名古屋市)、辻豊志(豊川市)

◆ イベントカレンダー ◆

2026年8月1日現在

開催日	内 容	開演時間	会 場	備考
8月9日(日)	第37回 日芸協中部ハーモニカコンサート	13時	江南市民文化会館(Home&nicoホール)	有料
8月30日~31日(月)	岐阜ミニ合宿(東京本部主催)	13時	岐阜キャッスルイン10F	有料
9月27日(日)	第4回三重ハーモニカ街道演奏会	13時	鈴鹿市ふれあいセンター	
10月3日(土)	第21回 なごやハーモニカ演奏会	12時30分	名古屋市天白文化小劇場	
10月25日(日)	第11回 ピュアハーモニカコンサート	13時	セラミックパークMINO 国際会議場(多治見市)	
10月31日(土)	第15回 ハーモニカふれあいコンサート	13時	まなびパーク7階ホール(多治見市)	
11月21日(土)	第16回 複音ハーモニカコンクール	13時	スクエア荏原ひらつかホール(東京都品川区)	有料
11月23日(祝・月)	第11回 豊橋ハーモニカ愛好会交歓演奏会	12時30分	豊橋市民文化会館	
2027年2月14日(日)	第31回 ハーモニカアンデパンダン発表会	12時20分	名古屋市名東文化小劇場	